

Ikiki Nakatsu

大阪府済生会中津病院 広報マガジン「いきいきなかつ」

Vol. 118

TAKE FREE



教えて先生～医療を支える“ヒト”と“モノ”～ 特集P.3-6

新型の機器とそれに負けない技術力で、
全診療科の手術と診断を麻酔で支える。

Ikiki トピックス

ベトナム形成外科医師団が中津病院を訪問されました！



10月9日、「Japan Surgical Mission in Da Nanang Network (JASMiNe)」のつながりから、ダナン総合病院の形成外科医師団が中津病院を訪問されました。中津病院の形成外科とベトナムとは縁が深く、1997年に先々代部長の平本道昭先生が「ベトナムに形成外科を！」と手術支援活動を始め、26年を経た現在も宗内部長がほぼ毎年訪越するなど、交流が続いています。医師団の方々には志手病院長との面談後、京都に移動し清水寺観光や祇園ランチなどを満喫されました。

「小児科」「免疫・アレルギーセンター」 外来がリニューアル

北棟4階Dブロックにあった「小児科」「免疫・アレルギーセンター」外来が、11月27日に南棟5階へ移動しました。待合室は広くなり、壁には子どもたちが好きな動物の絵が描かれ、ゆったりとお待ちいただくことができます。受診の際は間違えないようご注意ください。



休診日のお知らせ

●赤丸は休診日です

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								
2月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木								
3月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
4月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

休日となる月曜日は通常通り診療を行います。
そのための振替休日が、原則として同じ月の第1土曜日となります。

※詳しくは各診療科にお問い合わせください。



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
大阪府済生会中津病院

WEBサイトをご覧ください

<https://www.nakatsu.saiseikai.or.jp/>
携帯・スマホの方はこちらよりアクセス▶



〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目10番39号 TEL:06-6372-0333(代表)

○初診の方・再診で予約のない方 8:30～11:30(再診受付機8:00～) ○再診で予約のある方は、ご予約の診療時間までに受付をお済ませください。
○休診日 第2・第4土曜、日曜、祝日、12/31～1/3

令和6年2月2日発行 第118号 発行元:大阪府済生会中津病院 広報課 お問い合わせ 06-6372-0333

※広報誌撮影のため、スタッフはマスクを着用していませんが、通常の業務では着用しています。

新しい年を迎えて

大阪府済生会中津病院 病院長 志手 淳也



2024年、あけましておめでとうございます。

長く私どもを苦しめた新型コロナウイルス感染症(コロナ)は昨年5月から第5類感染症に変更され、感染対策も徐々に緩和されてきました。昨年はコロナによる診療制限からの脱却に奔走した1年でしたが、いよいよ本年は通常の医療を取り戻すため、積極的に展開していく年となりました。

中津病院では、安全、良質な医療を提供するため、施設の整備・改善を行なってきました。

①院内感染対策の強化

ベッドパウンウォッシャー(器具洗浄装置)の病棟配備、発熱外来ブースの設置、集中治療室の個室化、最新コロナ検査装置の導入など

②新型検査治療装置の導入

3テスラーMRI検査装置、リニアック放射線治療装置、ダビンチ手術支援ロボットなどの配備、ハイブリッド手術室を

有する脳・心・血管治療センターの開設など

本年はこれらの設備を活かし、感染対策に留意しながら、最善の治療を行なっていきます。一方、亜急性期のリハビリ治療に関しては、昨年4月に開設した大阪北リハビリテーション病院と連携を取り、入院患者さんのスムーズな在宅復帰を推進していきます。

我々の使命は、一人でも多くの方を病魔から開放し、安寧な生活を取り戻していただくことにあります。そのため「思いやりと活力あふれる病院」であり続けることが基本であると、私自身も肝に銘じたいと思います。

本年もよろしく願います。

TOPIC

脳・心・血管治療センター

開設



この度、中津病院では、今後ますますの増加が懸念される脳・心血管病に対してのより充実した急性期治療を可能とする診療体制の構築のため、その核となる血管造影装置を集中化した脳・心・血管治療センターを開設することとなりました。

中津病院では、我が国で心臓冠動脈疾患への治療が始まった1980年代より心臓冠動脈疾患のカテーテル治療に積極的に取り組んできました。近年は、その治療の鍵となる画像診断において、より精度の高いOCT(光干渉断層撮影法)をいち早く導入し、有数の件数を実施。より安全に緻密な治療を行い、成果を上げてきました。

カテーテル治療のみならず福音は心臓冠動脈疾患にとどまりません。頭頸部や上下肢の血管病変、胸腹部臓器腫瘍や出血性病変への血管を介した多様な治療はもちろん、その範囲は血管内だけに限らず心房細動を中心とした不整脈や心臓弁膜症などの構造的疾患へと拡がり、カテーテル治療件数は飛躍的に増加してい

ます。日々進化するカテーテル治療技術への適応と、増加する脳・心血管を中心とした救急対応の充実こそが、我々が脳・心・血管治療センターを開設した目的です。

新設の脳・心・血管治療センターでは、新規に2機のバイプレーン型血管造影装置を導入。脳血管領域における超急性期脳梗塞への緊急血管内治療、脳動脈瘤や腫瘍へのコイル塞栓術、胸腹部臓器腫瘍や出血性病変への治療をより安全に行える環境へと刷新しました。心血管領域では、全身麻酔下での開心術にも対応するハイブリッド手術室を新設し、大動脈弁狭窄症への経カテーテル大動脈弁植込み術の施行が可能となる環境を整備しました。

当センターの開設により、超高齢化社会を迎える我が国において、侵襲の低いカテーテル治療を最大限に駆使し、年齢を重ねてもなお、元気に暮らしている社会に貢献できればと考えています。

循環器内科 部長 木島 洋一

新型の機器とそれに負けない技術力で、
全診療科の手術と診断を麻酔で支える。

麻酔科 部長 岩倉 健夫



知っているようで
知らない、麻酔とは？

診療科名でもある麻酔とは、痛みを取り除き、手術における負担から患者さんの身体を守り、良好に維持する医療行為です。麻酔には大きく分けて全身麻酔(意識がない)と区域麻酔(意識がある)があります。全身麻酔では、麻酔薬で意識をなくす「鎮静」、麻酔で痛みを取り除く「鎮痛」、筋弛緩薬で動かない状態にする「不動化」の3要素が必要です。また、全身麻酔をすると確実に呼吸が止まるので、気管挿管をして呼吸管理を行います。手術中、麻酔科医は筋弛緩モニター、BIS(脳波)モニター、血圧計、血中酸素濃度計、動脈圧計などで患者さんの状態を常に観察し、異常があればすぐに対処します。例えば、痛みが強かったら血圧が上がるので鎮痛を深くします。手術中に麻酔が切れないかと心配される方がいます



が、少量の麻酔を持続的にずっと流し続けるので、途中で目が覚めることはありません。中津病院では手術室のモニターを新式に更新しており、全手術室に筋弛緩モニターやBISモニターを備えることができました。これにより、患者さんにより安心して手術を受けていただけたと思います。

FOCUS

<機器紹介>

経食道心エコー
「EPIQ CUX
(PHILIPS社製)」



心エコーに特化した超音波画像診断装置。高画質のエコー画像を得ることができ、複雑な症例でも3Dを用いることで確かな診断を行うことが可能です。

心臓血管手術に
必要不可欠な診断機器

「経食道心エコー」は、胃カメラのように口から食道へエコー(超音波)プローブを挿入し、食道から心臓の動きを観察する装置です。胸の上から超音波を当てる経胸壁心エコーでは肺や肋骨などの影響で心臓が観察しづらくなることがありますが、心臓のすぐ後ろにある食道からだとより鮮明な画像を得ることができます。中津病院では主に心臓血管外科の手術に使い、心臓や大動脈弁、僧帽弁の動きや異常がないかを診ています。今回、装置を新しくしたことで画質がとも向上しました。さらに、複雑な症例でも3Dを用いることで立体的に確認できるようになり、心臓血管外科の先生に手術内容などを提案する時に、今まで以上に自信を持って提案できるようになりました。この新型機器の性能に負けないよう、自分たちの知識と技術もさらに高めていこうと努力しています。

TEAM STAFF



麻酔をする判断基準は
自分がしてほしいか
どうか

麻酔を行う前に、患者さんに対して術前診察と麻酔の説明を行います。その際に心掛けているのが、患者さんの不安を取り除くことです。後遺症が残るような麻酔のリスクは数万分の一です。数万分の一と言われてもあまりピンとこないかもしれませんが、毎日車に乗って事故に遭う確率の方がよほど高いぐらいですので、安心してください。また、「断らない」というのが

当診療科のモットーです。高齢者になると歩けるか歩けないかはQOL(生活の質)を左右する重大な問題です。もし、整形外科の先生や患者さんもリスクを覚悟して手術したいと言っているのに、ここで麻酔科が断ったら患者さんはずっと痛みままで寝たきりになる。私が麻酔をかける時の判断基準は、自分が患者だったら麻酔をしてほしいかどうかです。他の病院の麻酔科が断っても、ここで断られることはほぼありません。ただ、麻酔をかけることが本当に命を左右するような場合は、無理だときちんと伝えます。

産婦人科と協力し、
安全で快適な
和痛分娩を提供

今年度から、産婦人科と協力して和痛分娩を始めました。現在、和痛分娩は硬膜外麻酔でカテーテルを1本入れるシングルカテーテル法が主流ですが、中津病院では子宮の痛みと産道の痛みは別物と考

え、子宮用と産道用にカテーテルを2カ所入れるダブルカテーテル法を採用しています。1本だと鎮痛するまで結構時間がかかったり、上部には効いても下部には効かなかったりということがあります。また、私たちのやり方では足の神経支配領域には麻酔を入れないので術後すぐ歩くことができます。メリットも大きいです。麻酔科と産婦人科がしっかり連携しているところが中津病院の強みで、最初の硬膜外麻酔は麻酔の専門である麻酔科医が担当します。また、万一のことがあってもすぐに駆けつけられる態勢を整えており、安心して出産に臨んでいただけたらと思います。まだまだ症例数は少ないですが産婦人科と協力し、軌道に乗せていきたいと考えています。



麻酔科

リスクが高くても「断らない」をモットーに、すべての患者さんに満足いく麻酔を。

近年、麻酔科医の需要が高まっており、手術現場にとどまらず、集中治療、ペインクリニックなどにも麻酔科医が携わる領域が広がってきています。当診療科では「断らない麻酔科」という方針のもと、各診療科のさまざまな要望にフレキシブルに対応。小児外科以外の全ての科の全身麻酔に対応するほか、区域麻酔(脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔)と周術期管理※も必要に応じて行なっています。所属する9人全員が麻酔科専門医で、集中治療専門医と心臓血管麻酔専門医も在籍しています。

STAFF紹介 古曾部 和彦先生 (紹介者:岩倉先生)



古曾部先生はクールですが正義感が強く、そして非常に優秀な麻酔科医です。経食道心エコー(UB-POE)認定医、集中治療専門医、心臓血管麻酔専門医など肩書きも非常に多く、全ての手技に精通しています。とても器用で、左右どちらの手でも注射ができるよう練習している間に、両手を同じように扱えるようになったそうです。知識に関しても非常に貪欲で勉強熱心、後進の指導も任せられます。まさに麻酔科の次期エース…いや、もうすでにエースかもしれません。

麻酔科 部長 岩倉 健夫

私の趣味 ▶ 「バドミントン」

毎週火曜日の夜に病院西棟の体育館に集まり、バドミントン部としてエンジョイ勢もガチ勢もみんな楽しく活動しています。久しぶりにやった次の日は、必ず筋肉痛になっていますね(笑)。





大阪府済生会中津病院

2023年患者満足度調査

Survey



アンケート設問項目は下記の通りで、今年も入院の患者さん191人(男性98人・女性89人)の方から貴重なご意見をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

Q. 設問

- ① 性別と年齢について
- ② 当院を選ばれた理由について(選択肢より複数回答)
- ③ 医師について(説明・聞く態度・知識・技術・接遇)
- ④ 看護師について(説明・聞く態度・知識・技術・接遇・ナースコールへの対応)
- ⑤ 入院中に関わる他のスタッフについて
- ⑥ 安心して診察・検査を受けることができるか
- ⑦ 病室環境について
- ⑧ 病院食について
- ⑨ 病院設備について
- ⑩ 感染対策について
- ⑪ 友人やご家族に当院での診察・検査を勧めるか
- ⑫ その他(ご意見(フリーコメント))

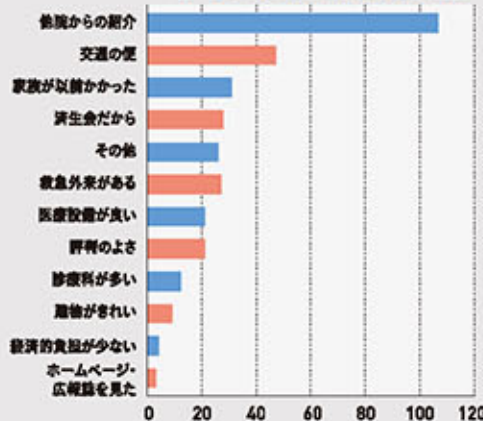


病院が、より質の高い医療サービスを提供するためには、医療技術は当然のことながら、全職員と患者さん・利用者さんとの接点においても「満足度」を高めることが必要です。病院に足を踏み入れ、診療・検査・治療が終わり、会計を済ませて出ていかれるまでの間、医療以外の事柄についても、「この病院にかかって良かった」と思っていたことが少しでも多くなるように、何が足りないのか、改善する点はあるのか、などを常に考え実行することが求められます。このことを客観的に評価するため、(公益財団)医療機能評価機構の「病院機能評価」

では患者満足度・待ち時間調査を定期的に行うことを求めています。

中津病院では毎年それらの調査を行なっていますが、2023年度の患者満足度調査につきましては、コロナ禍による医療環境の変化もあり、患者さんおよび関係者の健康・安全を第一に考慮した結果、調査対象を入院患者さんのみとし、アンケート記入形式で間接的に回収する形としました。来年以降、外来患者さんのアンケートも早期に再開したいと考えています。

(グラフ1) 当院を選ばれた理由



設問①では、男性の方が若干多く、60歳以上の入院患者さんが7割を超えており、最も多い年齢層が「70歳代」でした。設問②の「当院を選ばれた理由」については(グラフ1)、例年通り他院からの紹介の方が107人と最も多く、5割以上の方が紹介先として中津病院を

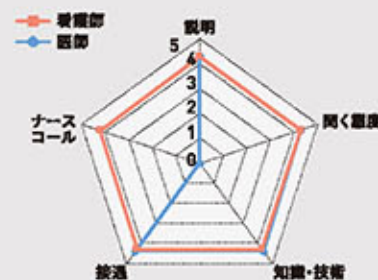
紹介された方でした。続いて交通の利便性を回答された方が47人(24%)と中津病院の立地の良さが伺えます。しかしながら、大阪の中心に病院があることから、感染リスクを心配される声もあります。中津病院では、基本的な感染対策の徹底を継続しており、安心して受診していただける環境にあり、病院の感染対策については高評価をいただいています。また、済生会病院であることや病院の評判、医療設備の充実を挙げられた方も多く、病院の質を評価していただいた結果となりました。反面、ホームページを見て受診されたと回答された方は3人(1%)と少ない結果でした。中津病院のホームページは大幅にリニューアルしており、より詳しく分かりやすくなっていますので、一度ご覧いただければと思います。

設問③から⑤では、中津病院の職員の職業別評価をお聞きしました。設問③④では、医師・看護師の対応について(グラフ2-1)、「とても良い」「良い」「普通」「少し悪い」「悪い」までの評価を5点満点で換算しました。

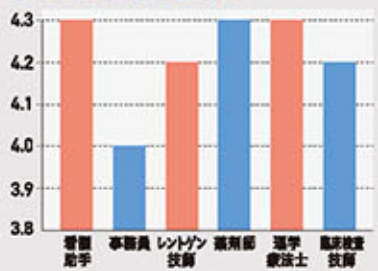
対応に関しては、医師・看護師とともに、「説明・聞く態度」「知識・技術」「接遇」「ナースコール対応」の全ての項目で4点以上となっていました。

設問⑤では、医師・看護師以外の職種について(グラフ2-2)もお伺いしていますが、全ての職種で4点前後の評価でした。

(グラフ2-1) 職種別評価 医師・看護師

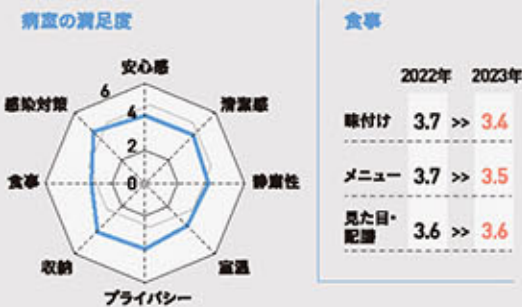


(グラフ2-2) 職種別評価

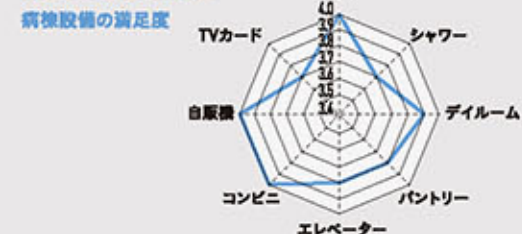


評価は5点満点
評価なし・わからないは、0点とし母数には含めず

(グラフ3) 入院満足度



(グラフ4) 入院設備

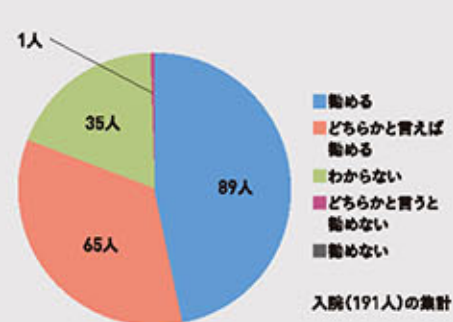


設問⑥から⑩は、中津病院での入院満足度についてお聞きしています。設問⑥の、入院中の治療・検査の安心感について(グラフ3)は、およそ7割以上の方が「満足している」と回答していただいています。

設問⑧の「病室環境」「病院食」「病院設備」について(グラフ3)は、4点前後と昨年よりやや改善の評価をいただきました。しかしながら、病室の静粛性・温度管理に関しては、それぞれ3.9点、3.6点の評価となっており、改善に努めたいと思います。「病院食」に関しては、「近年で改善傾向がみられますが、昨年と同様やや低い評価となりました。低い評価の理由として、味付けやメニューを指摘いただきましたが、食事は治療と直結していることも多く、改善の余地がないか関係部署と構築したいと思っております。設問⑨の病棟設備の満足度について(グラフ4)は、特にTVカードに関わる評価が低く、3.6点の評価でした。冷蔵庫との連動であること、有料・高額であることなどがその理由でした。

設問⑩で院内の「感染対策」について(グラフ3)聞いています。最も良い「良い」が7割、「普通」を含めると9割の方が十分という結果でした。

(グラフ5) 病院等で困っている方がおられた場合、当院での診察・検査を勧めますか?



〈文責〉患者サービス委員会 木山 賢

日本の認知症の高齢者数は、2012年に462万人、65歳以上の高齢者の7人に1人と推計されています。

軽度認知障害

(Mild Cognitive Impairment : MCI)診断基準

- ① 本人または家族(介護者)による物忘れの訴えがある
- ② 加齢の影響だけでは説明できない記憶障害の存在
- ③ 日常生活能力は自立
- ④ 全般的な認知機能は正常
- ⑤ 認知症は認めない

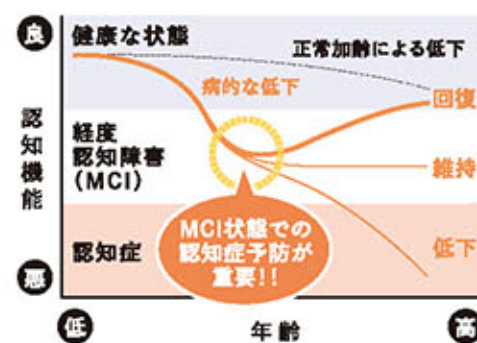
こんなことはありませんか?

- 疲れやすさやぼんやりしていることが多くなった
- 1週間の計画が立てられなくなった
- 複数人の会話や相手の話スピードについていけない
- 身だしなみを気にしなくなった
- 買い忘れが増えた

当てはまる項目の頻度や回数が多いとMCI(軽度認知障害)の可能性が?!

認知機能低下を防ぐためには、コグニサイズがおすすめ!

MCIの状態を放置すると5年以内に50%が認知症へ移行するといわれていますが、有酸素運動や認知機能訓練など、適切な処置を重ねることで46%が健康な状態への改善が見込めると報告されています。コグニサイズとは、国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題(計算、しりとりなど)を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組みの総称を表した造語英語のcognition(認知)とexercise(運動)を組み合わせてcognicise(コグニサイズ)と言います。

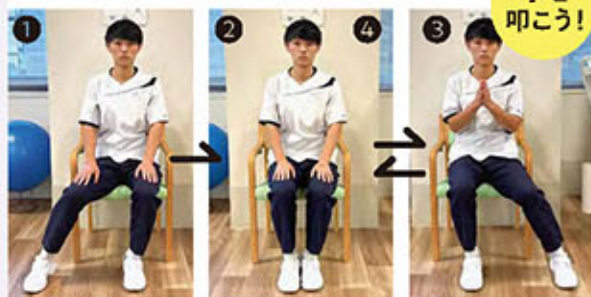


Let's TRY

座ってできる編

初級編 足: 足踏み
手: 3の倍数で手を叩く

応用編 足: 4ステップ
(①右足 → ②真ん中 → ③左足 → ④真ん中)
手: ステップ③で手を叩く

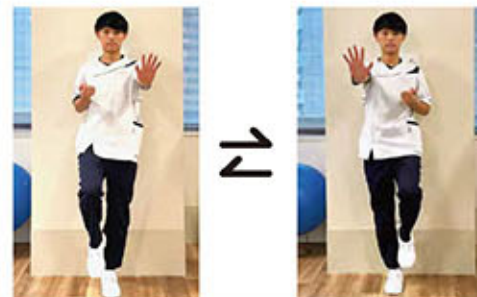


Let's TRY

立ってできる編

初級編 足: 足踏み
手: 左右交互に手を入れ替える

応用編 足: 足踏み
手: 5回ずつでグーパーを入れ替え



運動で脳と体の健康を促すとともに、脳の活動を活発にする機会を増やしましょう!

参考・引用: 認知症リハビリテーション・軽度認知症(MCI) 朝田隆 厚生労働省 認知症有病率調査について
地域在住高齢者における MCI(軽度認知機能障害) 早期発見および回復に向けた取り組みと将来の展望

リハビリテーション技術部

Self Check

やってみよう!
セルフチェック

閉塞性動脈硬化症

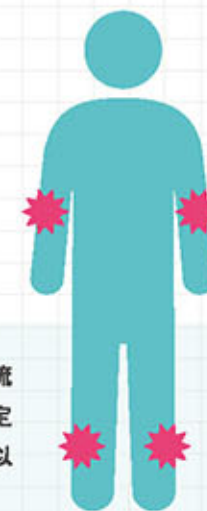
閉塞性動脈硬化症は、足の動脈の動脈硬化が進行することで足の先への血流が低下していく病気のことです。発症すると、足の冷え、しびれ、歩行中にふくらはぎに痛みが生じるなどの症状を引き起こし、重症の場合は安静にしているにも強い痛みが生じるようになります。また、血行が著しく悪くなることで足の組織に傷が生じてしまい、傷が悪化すると壊死することもあります。

治療では生活習慣を改めることが重要となります。発症した場合は、血管を拡張させる薬剤などによる薬物療法を行う必要があり、症状が改善しない場合は、血流を直接再開させる外科手術やカテーテル治療が必要になります。

チェックして
みましょう

こんな症状は要注意!

- 足の冷え、しびれ
- 歩行を続けているとふくらはぎや足の裏に痛みが生じ、歩行を止めて休むと痛みが改善する
- 安静時の足の痛み
- 足の皮膚に潰瘍や壊死



豆知識

ABI検査*が診断に有効です。この病気を発症すると足首への血流が低下するため、血圧も低下します。その結果、足首よりも腕で測定した血圧の方が高くなり、足首の最高血圧/腕の最高血圧が0.9以下である場合は、足の血管に動脈硬化を起こしていると考えます。

*ABI検査とは、足首と上腕の血圧を比べる検査です。正常の場合は足首の血圧は上腕よりも高圧となります。

Advice 先生からのアドバイス!

この病気は、肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や喫煙などの好ましくない習慣によって、動脈硬化が引き起こされることで発症します。そのため、治療では原因となる病気を改善し、生活習慣を改めることが発症・再発の予防の点から非常に重要となります。



総合健診センター 田中 賢司

認定看護師紹介

がん化学療法看護
認定看護師
PROFILE
 がん診療支援センター 外来化学療法室 竹内 奈津子

入職後、血液内科、消化器内科、婦人科などの病棟経験を経て、
2012年 がん化学療法看護認定看護師 資格取得
2013年～ 外来化学療法室勤務

患者さんへのメッセージ

がん治療は目まぐるしく発展し、抗がん剤だけでなく、がんゲノム医療といった遺伝子情報に基づくがんの個別化治療なども行われています。治療選択などで迷われた時には、いつでもご相談ください。医師、薬剤師、看護師、その他多くの職種が一丸となってがん治療を受けられる患者さんを支えていきます。

がん化学療法看護認定看護師とは、がん薬物療法に対する専門的な知識と技術を持った看護師のことです。役割としては、大きく分けて3つを担っています。1つ目は、患者さんが納得して治療を選択し、治療と向き合えるように支援をすることです。安全・確実な投与と管理を行い、副作用に対する症状マネジメントや意思決定のための情報提供をサポートしています。2つ目は、病院内の看護師へ、がん薬物療法に対する勉強会やがん看護実践へのアドバイスをすることです。患者さんがどこでも、安楽に同じ看護ケアを受けられるように支援しています。3つ目は、病院内の医療従事者から、がん薬物療法に対する相談を受け、患者さんにとってより良い方法について一緒に考えることです。患者さんの持っている力を高め、患者さんが、患者さんらしく日常生活を営み、治療が継続できることを目標にしています。私の勤務している外来化学療法室では、患者さんは通院しながら治療を受けるため、患者さんの生活背景なども大切に、普段の生活を送しつつ、治療が継続できるように支えていくことを目指しています。

 趣味から見る
 スタッフの素顔


ICU 看護師 大倉 千鶴

業務内容 ▶ 重症患者や手術後患者の看護ケア

◎現在の趣味は何ですか？

私の趣味は、バスケットボールです。中学時代はバスケット部で、それ以降はしていませんでしたが、中津病院へ入職後、クラブ活動があることを知り、またバスケットを始めました。現在は週1回で活動しています。

◎魅力を教えてください。

バスケットはスポーツの中でも激しく動き、体力を使いますが、声を出して汗をかくことでストレス発散ができています。また、チームプレイなので、みんなと仲良くなれるのも魅力だと思います。

◎今の業務に生かされたことはありますか。

病院のクラブ活動なので、さまざまな職種の知り合いも増え、コミュニケーションが広がり、仕事の円滑化につながっていると思います。また、試合で他の病院との交流があり、情報共有することで知識が増えより良い看護を提供できているのではないかと考えています。

キラリ輝く！★

★ Nakatsu Doctor



得意とする診療や力を入れている疾患は何ですか？

呼吸器内科 副部長 東 正徳



私は肺がんと睡眠時無呼吸・呼吸不全の診療に力を入れています。中津病院は多くの肺がんの患者さんが来院されており、大阪府下でも有数の症例数を誇っています。近年、肺がんに対する新しい治療薬として免疫チェックポイント阻害薬の投与が行えるようになり、長期生存できる患者さんが増えています。この抗がん剤は、免疫細胞を活性化させるために特有の副作用の心配がありますが、私は院内に専門の副作用対策チームを立ち上げ、チームリーダーとして対策を行ってきました。中津病院はこのチームにより、患者さんに安心して治療を受けていただけるようになっています。

また、私は大学院で睡眠時無呼吸と呼吸不全の研究を行っており、中津病院へ赴任した時に睡眠時無呼吸の精密検査から治療までしっかり行える体制を構築しました。2023年10月には、PSG検査装置を新型に更新し、さらに精度の高い検査が行えるようになっています。

中津病院には、医師・コメディカルともに素晴らしいスタッフが揃っています。ぜひ、安心して受診していただければと思います。

外科 医師 朝倉 悠



私は消化器外科の中で、悪性腫瘍を含む肝臓、胆道、膵臓領域(肝胆膵領域)の疾患を専門に診療しています。特に膵臓がんに関しては、発見が難しく進行度も早く予後不良の疾患です。しかし、近年、手術と化学療法などの治療を組み合わせることにより、予後も以前より向上を認めています。中津病院では、内科とも連携をし、速やかな診断、治療に努めています。手術に関しては、疾患の部位にもよりますが、肝胆膵領域においても低侵襲な腹腔鏡手術も導入しています。

健診やかかりつけ医の検査などで気になることがありましたら、何でもご相談ください。また、肝胆膵領域以外の腹部疾患も気兼ねなく、ご相談ください。お待ちしております。

地域連携医のご紹介

中津病院の地域連携医(登録医)としてご協力いただいている診療所・クリニックをご紹介します。

ふくだ内科クリニック

診療科目: 内科、循環器内科

ACCESS

〒561-0812
大阪府豊中市北条町3丁目2-24
FUDOメディカルビル3階
TEL 06-6335-1112

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	／
16:00~19:00	●	●	／	●	●	／	／

休診日: 水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



院長
福田 雅行



当院は、服部天神駅と江坂駅に挟まれた住宅街にあります。高血圧、糖尿病、コレステロールなどの生活習慣病や循環器疾患を中心に内科一般の診療を行なっています。また、精密検査が必要な際は、済生会中津病院や母校である阪大病院と連携を取っています。当院では、受付事務員から看護師まで、経験豊かなスタッフが、患者さん一人ひとりに適した対応を心掛けています。患者さんとの信頼関係を大切に、健康な生活へのサポートを通じて、地域の皆さんが常に幸せであってほしいと願っています。最新の医療と温かい雰囲気調和したクリニックで、皆さんの健康と幸福をサポートします。

星医院

診療科目: 内科、呼吸器内科

ACCESS

〒532-0028
大阪府大阪市淀川区十三元今里2-13-16
TEL 06-6309-6555

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	／
16:00~19:00	●	●	／	●	●	／	／

休診日: 水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



院長 星 稜



当院は、近年再開発が進んでいる阪急十三駅から徒歩10分の所にある小さな町のクリニックで、12年前に開院しました。専門分野は呼吸器系で、気管支ぜんそく、肺炎腫、睡眠時無呼吸症候群、慢性呼吸不全などですが、高血圧、糖尿病、高脂血症、かぜなどの一般疾病の診療に加え、インフルエンザワクチン、コロナワクチンなどの接種や、会社の健康診断も行なっています。

コロナ肺炎の患者さんが出た折には済生会中津病院には大変お世話になりました。

クリニック勤務では、他の医師と顔を合わせる機会が減るので、つつい勉強する機会や意欲をなくしがちですが、努めて最新の治療ガイドラインに目を通すようにしています。

教えて?
お薬のこと

Drag Topics

薬剤部 島 玲

〇 かかりつけ薬局のすすめ

普段から何でも相談できる「かかりつけ薬局」をお持ちですか? 「かかりつけ薬局」は「自分のことをよく知るお薬のパートナー」です。複数の医療機関にかかっている場合は、お薬の重複や飲み合わせを確認し、安心して治療が進められるようアドバイスしてくれます。症状や体調に合わせた市販薬やサプリメントを選ぶのを手伝ってもらったり、最近よく耳にするジェネリック医薬品についても気軽に相談することができます。

さらに「かかりつけ薬剤師」を決めておくと、一人の薬剤師が一人の患者さんのお薬の情報を把握し、薬局が開いていない時間でも電話で24時間対応してくれたり、在宅医療のサポートをしてもらうことができます。

中津病院でも、患者さんに「かかりつけ薬局」について確認させてもらうことがあります。お薬の情報が手元にない場合に「かかりつけ薬局」で確認させてもらったり、入院中に変更になったお薬の情報を退院時に「かかりつけ医師」「かかりつけ薬局」にフィードバックしたり、医療機関と連携して患者さんをサポートします。ぜひ、信頼できる「かかりつけ薬局」を持ちましょう!!



[いきいき NEWS]

脳MRI・MRAを受けてみませんか?

脳血管疾患は死因の第4位で、全国で年間10万7千人が死亡しています(2022年人口動態統計より)。脳血管疾患には、脳の動脈が詰まる脳梗塞、動脈が破れる脳出血、脳動脈瘤が破れるくも膜下出血などがあり、脳MRI・MRAはこれらを明確に診断することができます。特にMRAは病気が現われる前に動脈瘤や動脈狭窄を検出することができ、予防として有用です(図1・2)。

中津病院では、昨年新鋭の3テスラMRI装置を導入し、造影剤を投与せずこれまで以上に明瞭な動脈像を見ることができるようになりました。頭痛などの症状がある方は、かかりつけ医を受診し、中津病院地域連携センターを介して脳MRI・MRAによる検査を受けてください。症状はないけれども動脈瘤が気になる方は、健診センターにて脳ドックを受けられることをお勧めします。

異常がみられた場合は、速やかに脳神経内科もしくは脳神経外科にて精査させていただきます。

図1 脳動脈瘤 ▶
右中大脳動脈にこぶ(動脈瘤)がみられ、破裂するとくも膜下出血になります。



図2 プラークイメージ ▶
内頸動脈壁に脳梗塞の原因となる物質がみられ、剥がれやすいかどうかわかります(不安定プラーク)。

